

2023年12月20日

フランス製薬大手セルヴィエとのオプション契約締結のお知らせ

ルクサナバイオテック株式会社（代表取締役社長 CEO：佐藤秀昭、本社：大阪府吹田市、以下「ルクサナバイオテック」）は、グローバル製薬グループであるセルヴィエ（社長：Olivier Laureau、本社：フランス、シューレーヌ市、以下「セルヴィエ」）との間で、神経疾患領域におけるルクサナバイオテックが保有する画期的な人工修飾核酸技術（以下「ルクサナ XNAs 技術」）の独占的実施権を許諾するためのオプション契約（以下「本契約」）を締結しましたのでお知らせします。

ルクサナバイオテックとセルヴィエは、2023年3月に神経疾患領域における共同創薬研究（以下「本プログラム」）に関する契約を締結し、ルクサナ XNAs 技術を用いて、セルヴィエの神経疾患領域をターゲットとするアンチセンスオリゴヌクレオチド（以下、アンチセンス核酸）のリード化合物の最適化を実施しました。今般、第1ステージでのマイルストーン達成により、ルクサナバイオテックはセルヴィエから一定額のマイルストーンフィーを受領します。

本契約のもとルクサナバイオテックとセルヴィエは、現在進行中の本プログラムを継続するとともに、複数の標的遺伝子に対する同様の共同創薬研究を開始し、ルクサナバイオテックとセルヴィエ間の戦略的提携を拡大します。

本プログラムにおいて、第2ステージでのマイルストーンを達成した場合、ルクサナバイオテックはセルヴィエからマイルストーンフィーを受領することができます。更に、ルクサナバイオテックとセルヴィエは、本プログラムに対するセルヴィエへのルクサナ XNAs 技術の全世界における独占的実施権の許諾に関するライセンス契約を締結する予定です。その場合、ルクサナバイオテックは、契約一時金、年間実施料及び本プログラムの進捗に応じたマイルストーンフィーを受領することになります。

ルクサナバイオテック代表取締役社長 CEO 佐藤秀昭は、「ルクサナバイオテックはルクサナ XNAs 技術の神経疾患領域への応用を追求し、アンチセンス核酸創薬プラットフォーム（以下、LuxiAP®）を強化してまいりました。今般、グローバル製薬グループであるセルヴィエとの共同創薬研究から、戦略的提携の拡大を想定した本契約の締結に至ったことを大変喜ばしく思います。セルヴィエとの提携により、ルクサナ XNAs 技術を用いた核酸医薬品の開発が促進され、社会実装が加速されることを期待します」と述べています。

2023年12月20日

ルクサナ XNAs 技術について：

大阪大学大学院薬学研究科生物有機化学分野 小比賀 聡教授らの研究成果により生み出された、AmNA[®]、scpBNA[®]、GuNA[®]、5'-CP[®]等の人工修飾核酸群を総称して「ルクサナ XNAs 技術」と称します。RNA への強い結合力や高い毒性低減効果の特性を生かし、高活性と低毒性を両立したアンチセンス核酸を創製することができます。

ルクサナバイオテック株式会社について：

ルクサナバイオテックは、大阪大学発の人工修飾核酸群を基盤とした核酸医薬創薬プラットフォームを用いて、安全かつ効果的な医薬品の実用化を進めるために設立されたバイオテックです。有効な薬のない病気と闘う患者さんと支える方々へ福音となる核酸医薬品を届けることをめざしています。アンチセンス核酸を主開発品とし、複数の製薬会社との共同開発と自社創薬を積極的に推進しています。

【問い合わせ】

ルクサナバイオテック株式会社 管理部

E-mail: info@luxnabiotech.co.jp

HP: <https://luxnabiotech.co.jp/>